

2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年11月1日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT 2011 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

AGENDA

第1部 2012年3月期第2四半期決算概況、 および2012年3月期業績予想

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

第2部 上期総括と今後の経営方針について

代表取締役社長
釜井 節生

I. 2012年3月期第2四半期決算概況、 および2012年3月期業績予想

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

- 3 -

(1) 2012年3月期 第2四半期 連結業績

【前期比】 増収に加え、売上総利益率改善ならびに販管費の減少により、営業利益・経常利益は大幅増益。前期は人員削減による特損の計上があったため、四半期純利益も大幅改善。

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	前期との比較			<参考>期初予想(5/12発表)との比較		
		11年3月期 第2四半期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
売上高	30,638	28,878	+1,760	+6.1%	29,194	+1,444	+4.9%
売上総利益	9,690	8,896	+794	+8.9%	—	—	—
売上総利益率	31.6%	30.8%	+0.8pts	—	—	—	—
販管費及び一般管理費	8,797	8,935	▲138	▲1.5%	—	—	—
営業利益	892	▲38	+930	—	▲276	+1,168	—
営業外収益	167	169	▲2	▲1.2%	—	—	—
営業外費用	42	46	▲4	▲8.7%	—	—	—
経常利益	1,017	84	+933	+1,110.7%	▲243	+1,260	—
特別利益	106	—	+106	—	—	—	—
特別損失	—	2,000	▲2,000	—	—	—	—
四半期純利益	716	▲1,547	+2,263	—	▲21	+737	—

- 4 -

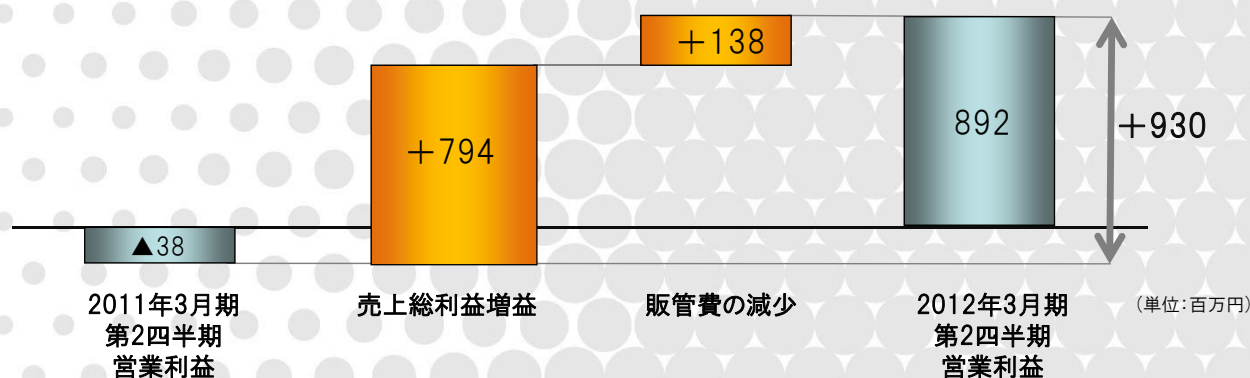
(2) 連結営業利益の前期比増減要因

売上総利益の
主な増減要因

- ・ 受託システム開発の増収および利益率改善効果(+約4億円)
- ・ ソフトウェア製品およびソフトウェア商品の利益率改善効果(+約2億円)
- ・ コンサルティングサービスの増収および利益率改善効果(+約1.5億円)

販管費の
主な増減要因

- ・ のれん償却費の減少(▲1.6億円)
- ・ 研究開発費の増加(+0.6億円)



- 5 -

(3) 事業セグメント別 連結売上高

【前期比】

金融
ビジネス系
エンジニアリング系
コミュニケーションIT

メガバンク向け受託システム開発を中心に増収
基幹ソリューション、会計ソリューション、人事ソリューションが拡大
CAD/CAE/PLM等のライセンス販売、構想設計ソリューションが拡大
電通との協業分野が拡大

(単位:百万円)

事業セグメント	12年3月期 第2四半期	前期との比較			<参考>期初予想(5/12発表)との比較		
		11年3月期 第2四半期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
金融ソリューション	8,801	8,575	+226	+2.6%	8,202	+599	+7.3%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	6,679	5,995	+684	+11.4%	6,846	▲167	▲2.4%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	9,473	8,945	+528	+5.9%	8,557	+916	+10.7%
コミュニケーションIT	5,684	5,362	+322	+6.0%	5,587	+97	+1.7%
合計	30,638	28,878	+1,760	+6.1%	29,194	+1,444	+4.9%

※2012年3月期より、金融ソリューションセグメントの一部の売上(上期1億円)を、エンタープライズソリューション・ビジネス系に移管

- 6 -

(4) サービス品目別 連結売上高

【前期比】

コンサルティング
受託システム開発
ソフトウェア製品
ソフトウェア商品
アウトソーシング運用保守
情報機器他

震災の影響を受けたものの、設計開発分野、会計ソリューションが拡大
金融業向け、および電通との協業分野が拡大
会計ソリューション/人事ソリューションが拡大も、金融業向けの反動減等により減収
設計開発分野/会計ソリューションがライセンス販売を中心に拡大
電通グループ向けが堅調に推移
金融業向けを中心に拡大

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	前期との比較			＜参考＞期初予想(5/12発表)との比較		
		11年3月期 第2四半期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,035	721	+314	+43.6%	1,153	▲118	▲10.2%
受託システム開発	9,168	8,307	+861	+10.4%	8,958	+210	+2.3%
ソフトウェア製品	3,807	4,055	▲248	▲6.1%	3,913	▲106	▲2.7%
ソフトウェア商品	10,628	10,353	+275	+2.7%	9,746	+882	+9.0%
アウトソーシング・運用保守サービス	2,752	2,547	+205	+8.0%	2,610	+142	+5.4%
情報機器販売・その他	3,245	2,893	+352	+12.2%	2,812	+433	+15.4%
合計	30,638	28,878	+1,760	+6.1%	29,194	+1,444	+4.9%

- 7 -

(5) 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2011年4月～ 2011年9月	2010年4月～ 2010年9月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,798	749	+1,049
投資活動による キャッシュ・フロー	▲451	▲720	+269
財務活動による キャッシュ・フロー	▲952	▲941	▲11
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲89	▲108	+19
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	304	▲1,021	+1,325
現金及び現金同等物の 期首残高	11,417	11,215	+202
現金及び現金同等物の 期末残高	11,722	10,194	+1,528

＜今期のピックアップ＞

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益(1,124百万円)
前受金の増加(1,559百万円)
減価償却費(1,416百万円)
法人税等の支払(▲659百万円)
売上債権の増加(▲641百万円)
前渡金の増加(▲593百万円)

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

無形固定資産の取得(▲702百万円)
定期預金の預入による支出(▲265百万円)
関係会社株式の取得による支出(▲150百万円)
投資有価証券の売却による収入(606百万円)

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済による支出(▲626百万円)
配当金の支払(▲325百万円)

- 8 -

(6) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2011年 9月30日	2011年 3月31日	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	33,145	31,294	+1,851	預け金の増加(635百万円)、売掛債権の増加(624百万円)、前渡金の増加(589百万円)
固定資産	18,384	18,276	+108	無形リース資産の増加(343百万円) 有形固定資産の減少(▲152百万円)
資産合計	51,529	49,570	+1,959	
流動負債	15,527	14,321	+1,206	前受金の増加(1,552百万円) 未払法人税等の減少(▲277百万円)
固定負債	2,624	2,375	+249	リース債務の増加(227百万円)
負債合計	18,152	16,696	+1,456	
純資産合計	33,377	32,873	+504	利益剰余金の増加(391百万円)
負債純資産合計	51,529	49,570	+1,959	

(7) 受注・受注残

受注・受注残は、当社のサービスラインのうち、受託システム開発、ソフトウェア製品/商品のアドオン開発のみが対象となっております。
コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス、ライセンス保守、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器等は含んでおりません。

(単位:百万円)

事業セグメント別	受注高		受注残高	
	12年3月期 第2四半期	前期比	12年3月期 第2四半期	前期比
金融ソリューション	7,607	100.0%	2,846	105.4%
エンタープライズソリューション・ビジネス系	4,328	138.7%	2,015	160.0%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	1,660	98.9%	370	79.7%
コミュニケーションIT	2,428	107.4%	335	139.0%
合計	16,024	109.2%	5,568	119.3%

サービス品目別	受注高		受注残高	
	12年3月期 第2四半期	前期比	12年3月期 第2四半期	前期比
受託システム開発	10,370	112.0%	3,414	135.0%
ソフトウェア製品アドオン開発	1,821	100.5%	908	82.2%
ソフトウェア商品アドオン開発	3,832	106.5%	1,245	120.4%
合計	16,024	109.2%	5,568	119.3%

(8) 2012年3月期業績予想<連結>

- ✓ 下期は、主に新規領域において売上高拡大を目指すため、売上総利益率を保守的に見ていることに加え、中期経営計画達成のための戦略的費用拡大等により、減益の計画。
- ✓ 通期売上高は7.1%の増収、営業利益は22.9%の増益を見込む。
- ✓ 第2四半期末の配当は予定通り10円/株。年間では期初計画通り、20円/株を予定。

	12/3期 下期	前期との比較			12/3期 通期	前期との比較		
		11/3期 下期	増減額	増減率		11/3期 通期	増減額	増減率
売上高	33,861	31,353	+2,508	+8.0%	64,500	60,232	+4,268	+7.1%
営業利益	1,807	2,235	▲428	▲19.1%	2,700	2,197	+503	+22.9%
経常利益	1,882	2,265	▲383	▲16.9%	2,900	2,350	+550	+23.4%
当期純利益	1,083	1,415	▲332	▲23.5%	1,800	▲132	+1,932	—

(9) 事業セグメント別 連結売上高予想

- 金融
ビジネス系
エンジニアリング系
コミュニケーションIT
- 前期の大型案件により反動減
会計ソリューション/基幹ソリューションの受注が拡大
大手製造業向けにソフトウェア商品販売が拡大
電通グループ協業案件が拡大

	12/3期 下期	前期との比較			12/3期 通期	前期との比較		
		11/3期 下期	増減額	増減率		11/3期 通期	増減額	増減率
金融ソリューション	8,896	9,557	▲661	▲6.9%	17,698	18,133	▲435	▲2.4%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	8,394	6,656	+1,738	+26.1%	15,074	12,651	+2,423	+19.2%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	10,219	9,462	+757	+8.0%	19,692	18,407	+1,285	+7.0%
コミュニケーションIT	6,350	5,677	+673	+11.9%	12,035	11,039	+996	+9.0%
合計	33,861	31,353	+2,508	+8.0%	64,500	60,232	+4,268	+7.1%

※2012年3月期より、金融ソリューションセグメントの一部の売上(下期2億円 通期3億円)を、エンタープライズソリューション・ビジネス系に移管

(10) サービス品目別 連結売上高予想

コンサルティング
受託システム開発
ソフトウェア製品
ソフトウェア商品

会計ソリューションが拡大
金融ソリューション、基幹ソリューション、電通グループとの協業分野が拡大
基幹ソリューション/会計ソリューション/人事ソリューションが拡大
基幹ソリューション、設計開発分野が拡大

	12/3期 下期	前期との比較			12/3期 通期	前期との比較		
		11/3期 下期	増減額	増減率		11/3期 通期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,802	1,518	+284	+18.7%	2,838	2,239	+599	+26.8%
受託システム開発	10,274	9,332	+942	+10.1%	19,443	17,639	+1,804	+10.2%
ソフトウェア製品	5,200	4,859	+341	+7.0%	9,008	8,915	+93	+1.0%
ソフトウェア商品	11,245	9,944	+1,301	+13.1%	21,873	20,298	+1,575	+7.8%
アウトソーシング・運用保守サービス	2,668	2,656	+12	+0.5%	5,420	5,204	+216	+4.2%
情報機器販売・その他	2,669	3,041	▲372	▲12.2%	5,915	5,935	▲20	▲0.3%
合計	33,861	31,353	+2,508	+8.0%	64,500	60,232	+4,268	+7.1%

- 13 -

【参考】2012年3月期 第2四半期 個別業績

(単位: 百万円)

	12年3月期 第2四半期	前期との比較		
		11年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	26,210	25,493	+717	+2.8%
売上総利益	7,907	7,399	+508	+6.9%
売上総利益率	30.2%	29.0%	+1.2pts	—
販管費及び一般管理費	7,549	7,825	▲276	▲3.5%
営業利益	357	▲426	+783	—
営業外収益	563	219	+344	+157.1%
営業外費用	9	31	▲22	▲71.0%
経常利益	911	▲238	+1,149	—
特別利益	106	3	+103	+3,433.3%
特別損失	—	1,909	▲1,909	—
当期純利益	840	▲1,667	+2,507	—

- 14 -

【参考】2012年3月期 第2四半期 個別業績

セグメント別売上高

(単位:百万円)

	12/3期 第2四半期	前期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
金融ソリューション	7,450	7,383	+67	+0.9%
エンタープライズソリューション・ビジネス系	6,416	5,809	+607	+10.4%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	8,976	8,590	+386	+4.5%
コミュニケーションIT	3,366	3,710	▲344	▲9.3%
合計	26,210	25,493	+717	+2.8%

サービス品目別売上高

(単位:百万円)

	12/3期 第2四半期	前期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	681	500	+181	+36.2%
受託システム開発	7,909	7,209	+700	+9.7%
ソフトウェア製品	3,760	4,005	▲245	▲6.1%
ソフトウェア商品	10,261	10,126	+135	+1.3%
アウトソーシング・運用保守サービス	1,526	1,417	+109	+7.7%
情報機器販売・その他	2,070	2,234	▲164	▲7.3%
合計	26,210	25,493	+717	+2.8%

II. 上期総括と今後の経営方針について

代表取締役社長
釜井 節生

今期の経営方針

中期経営計画「iSiD Open Innovation 2013～価値協創～」の
推進により、業績拡大を図る

中計 6つの基本方針	中計 業績目標
①競争優位分野への集中	2014年3月期 売上高 800億円 営業利益 55億円 営業利益率 7% ROE 8%
②電通との協業加速	
③先端技術活用による新規ビジネスの開発	
④人材力強化	
⑤安定収益基盤の拡充	
⑥コスト構造改革	

2012年3月期 上期総括

「競争優位分野への集中」により、全セグメント前期比増収を達成

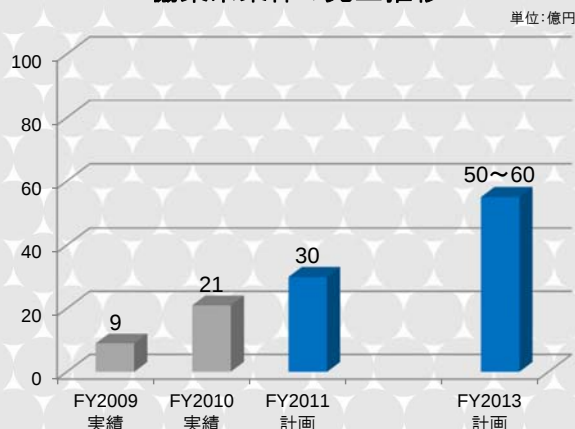
事業セグメント	上期 売上高 (億円)	前年 同期比 (%)	5/12 予想比 (%)	好調に推移した領域
金融ソリューション	88	102.6	107.3	> メガバンク向けSI (海外、トランザクションバンキング、市場系) > 地銀向けソリューション(BANK・R、インターネット投信等)
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	66	111.4	97.6	> 基幹ソリューション (SAP、BusinessSPECTRE、Panaya) > 会計ソリューション (Oracle EBS、Hyperion、STRAVIS) > 人事ソリューション (POSITIVE)
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	94	105.9	110.7	> 設計開発分野 (CAD/CAE/PLM/DM) > 構想設計ソリューション (コンサルティング + iQUAVIS) ～iTiDコンサルティング完全子会社化による加速～
コミュニケーションIT	56	106.0	101.7	> 電通との協業 ～新規ビジネス領域/新規顧客の開拓～
その他	-	-	-	> 中部・関西・広島の支社化による「顧客インサイト」強化～製 造業向けにビジネス系エンジニアリング系のクロスセル推進

さらなる業績拡大に向けて

電通との協業の加速

- **電通グループ 新プロジェクトチーム「team DoIT!」発足**
2010年に立ち上げた「ITソリューションタスクフォース」の取組を継承しさらに加速
- **競争優位分野の確立**
 - エコポイントスキーム
セールスフォースドットコムとの協業を基盤とした
超短期・高品質SI
 - 公共分野
公共/環境/省エネルギー/復興プロジェクト分野
 - プラットフォームビジネス
マーケティングプラットフォームの開発継続・強化
デジタルコンテンツ流通プラットフォーム事業への参画
～電通の特許「許諾コード方式(DRPC)」を活用～
- **先端技術開発における協業**
→ オープンイノベーション研究所

協業系案件の売上推移



さらなる業績拡大に向けて

最先端技術を活用した新しいビジネスの開発を推進



- **ロケーションベースマーケティング**
 - 独自の屋内位置測位技術を持つクウジツ(株)をグループ会社化。電通との連携で新たな位置・空間連動型サービスを開発
- **センサーネットワーク**
 - ローム(株)・立命館大学・電通と、高精度位置センサーや脈波センサーなど最先端センシング技術を活用したソリューションを開発
- **ソーシャルメディア**
 - HTML5アプリ/ソーシャルゲームの研究開発
 - BIP(公募によるビジネス企画プログラム)の継続
～第1弾としてiPhoneアプリをリリース予定～
 - ソーシャルビューイングアプリ開発
- **コネクティングスタジオ**
 - 先端技術の実用化のための実証実験場「イノラボ・コネクティングスタジオ」を品川本社に開設

さらなる業績拡大に向けて

独自ソリューションの開発・強化による競争優位の創出

● 金融セグメント

インターネットバンキングシステム製品化
地域金融機関向けソリューション「BANK・R」
- 次世代バージョン開発
- 中国バージョン開発
「ハバリューチェーンファイナンス」プラットフォーム&サービス開発
市場系の新サービス開発

● ビジネス系セグメント

連結会計「STRAVIS」機能強化
人事ソリューション「POSITIVE」機能強化

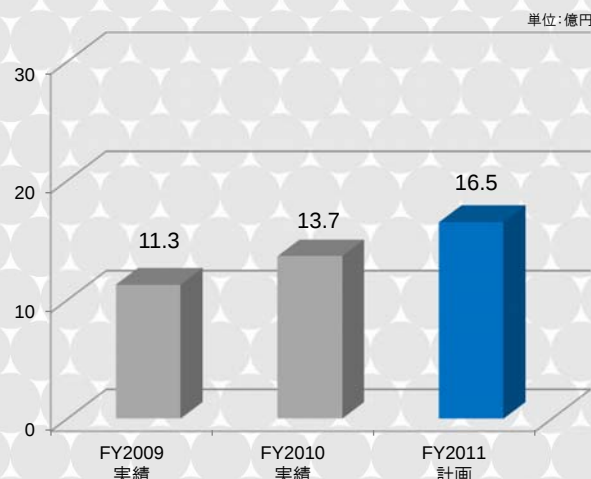
● エンジニアリング系セグメント

構想設計ソリューション「iQUAVIS」機能強化

● コミュニケーションITセグメント

マーケティングプラットフォーム機能強化

研究開発費(経費性)



さらなる業績拡大に向けて

グローバル領域の強化

● グローバル顧客(銀行・製造業・電通)サポート

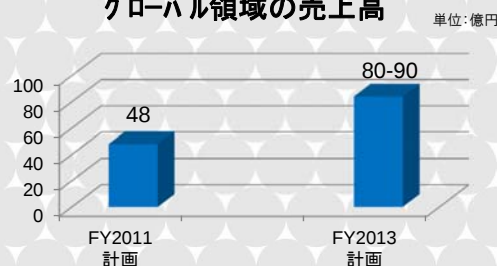
● 海外発のビジネス強化

➢ iSiD上海が開発したリス会社向け基幹パッケージの
アジア展開～5社、6ヶ国、18拠点から受注～

● 自社パッケージの海外展開

➢ 「BANK・R」中国展開:ターゲットは約150行、中国版開発
および販売体制の確立へ
➢ 「iQUAVIS」アジア・欧米展開:日韓で取得した特許を活用した
ソリューション～米国・欧州・中国で特許申請中

グローバル領域の売上高



クラウド領域の強化

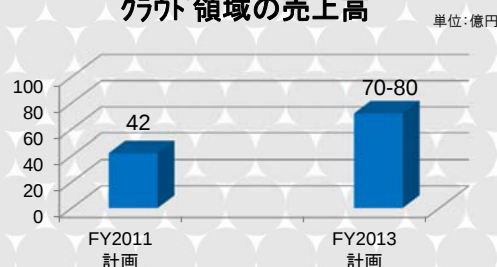
● クラウド～パートナーシップによる差別化～

➢ セルソフォース・ドットコム社、Amazon Web Services社、ビットアイル等
クラウドベンダーと幅広く提携、課題に応じた最適ソリューション構築

● アプリケーションによる差別化

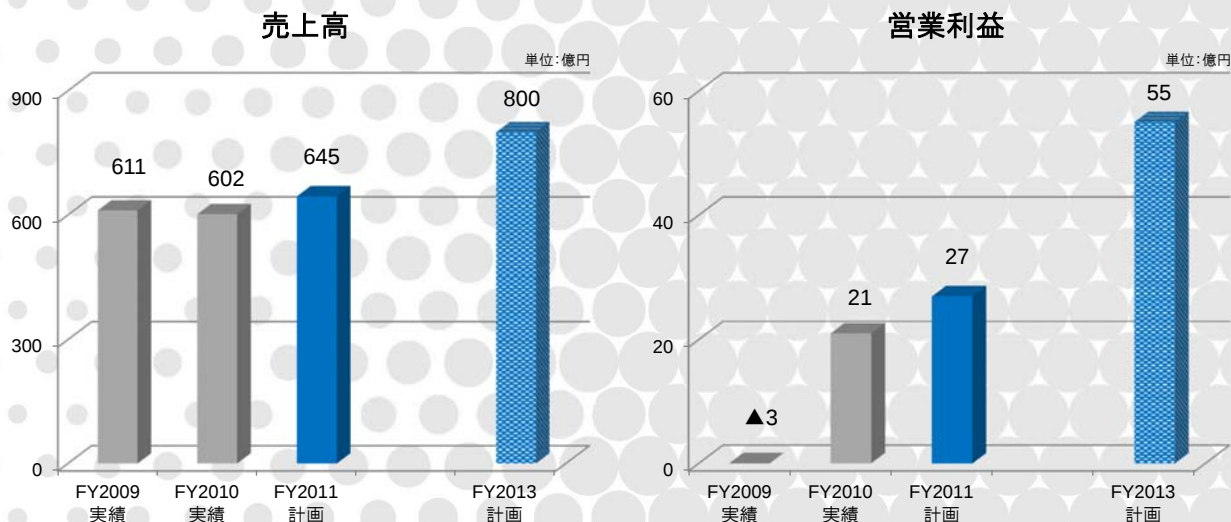
➢ 全セグメントにわたり、計19のクラウドソリューションを準備

クラウド領域の売上高



下期の経営方針

2013年度売上高800億円営業利益55億円の目標に向けて、
中計を着実に実行する



- 23 -

主要プレスリリース <2011年4月～10月>

金融ソリューションセグメント

- 5/27 主要金融機関による「決済制度改革に関する意見交換会」を開催
- 6/ 2 投資信託の販売支援サービスをクラウドで提供開始
- 6/14 清水銀行の業務支援システムを刷新、情報の一元管理化を実現
- 6/24 北都銀行、投信ネット販売にiSiDのクラウドサービスを採用
- 8/31 北都銀行の審査支援システムをクラウドで刷新、グループ経営効率化を支援
- 9/ 8 iSiDとみずほ情報総研、不動産担保評価システムを提供開始
- 9/27 静岡中央銀行の信用リスク管理システムを再構築

エンタープライズソリューション・ビジネス系

- 4/25 人事・給与・就業パッケージソフト「POSITIVE」の最新版を提供開始
- 4/27 ANAの次世代メッセージ通信システムを構築
- 5/10 東光の次期グローバル会計システムを受注
- 5/11 ジェイアイエヌの次期経理システムを構築
- 6/ 1 アマゾン ウェブ サービス上でのSAP構築サービスを開始
- 6/24 ホシザキグループの人事給与シェアードサービスの基盤システムを構築
- 7/ 1 SAPデータ連携フレームワーク「BusinessSPECTRE」の最新版を提供開始
- 10/ 6 OracleEBSのアップグレードを支援するクラウドサービスの提供を開始

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系

- 5/10 OKIとiSiD、海外進出製造業向けクラウドで業務提携
- 10/27 製品開発における構想設計業務の支援システム「iQUAVIS」を提供開始

クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- 8/ 4 クラウド、位置・空間連動型サービス分野で業務・資本提携
- 8/ 4 治験業務効率化を実現する製薬業界向けクラウドサービスの提供を開始
- 9/13 イノベーションマネジメントを実現するソーシャル・ネットワーキング・サービス「Spigit」の提供を開始
- 10/ 4 色素増感型太陽電池(DSC)によるエネルギーハーベスティング方式を実現した屋内測位インフラ「Place Sticker®」を開発
- 10/ 6 脈波センサーの新たな用途を提案する「感性アプリ」と「脈音～MyacNe」を開発

- 24 -

ISiD Open Innovation 2013

価値協創

ISiDグループは、お客様、電通グループをはじめ、あらゆるパートナーとの
コラボレーションを通じて時代を先取りした新しい価値を創出する。
その新たな価値によってお客様や社会が抱える課題解決に貢献する。

注) この資料に記載しております業績の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、
予想に内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の業績は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。